

生前の功労をたたえ

故兒玉清隆さんへ正六位を伝達

2月21日、故兒玉清隆さん（城川内）に、長年にわたる地方自治の振興発展に貢献された功績をたたえ、正六位が贈られ、川添町長から衣夫人へ伝達されました。

同氏は、昭和50年4月から平成3年4月までの4期16年間にわたり、旧長島町町長として在職しました。

この間、黒之瀬戸大橋完成後の町の発展を図るため、長期的、広域的な視点に立ち、高率補助

事業を導入。財政負担の軽減に努めながら、町政発展に貢献されました。さらに他市町村に先

駆けて集会施設の建設や防災行政無線を設置。黒之瀬戸大橋の無料化の運動を呼びかけるなど、町政発展、産業の振興、文化、福祉の向上など地方自治の振興発展に尽力されました。

こうした多年にわたる功績が認められ、平成6年11月に勲五等瑞宝章を受章、さらに今回の叙位となりました。



↑川添町長から衣夫人（写真右）へ伝達

外国から嫁いだ人も、もっと長島を大好きに 「日本語サロン・Nagashima」開講

みなさんは長島町に外国人がどのくらい住んでいるかご存知ですか？

町には、日本人の配偶者や技能実習生など約50人の外国人が住んでいます。

出身地はフィリピンやベトナムなどの東南アジアがもっとも多く、そのほか中国やオランダなどたくさんの国から町に移り、生活しています。

これまで、長島に嫁ぎ暮らしている外国人のかたがたから町に「日本語が不十分で日常生活や地域との関わりで困っている。日本語を勉強できる場を作ってほしい」との要望がありました。

町としても長島町で長く幸せに暮らしてもらいたい、もっと長島町を好きになってもらうために、交流をしながら日本語を学ぶ場の設置に取り組み始めました。

2月11日に第一歩となる日本語教室の授業「日本語サロン・Nagashima」を開講し、ゲームや自己紹介を通して楽しく日本語を学習しました。

今後も外国人が長島で長く安心して暮らせるよう、さまざまな取り組みを行っていきます。



↑サロンでトークを交わす参加者ら

◎問い合わせ先

役場町民福祉課 ☎ (86) 1157 [直通]